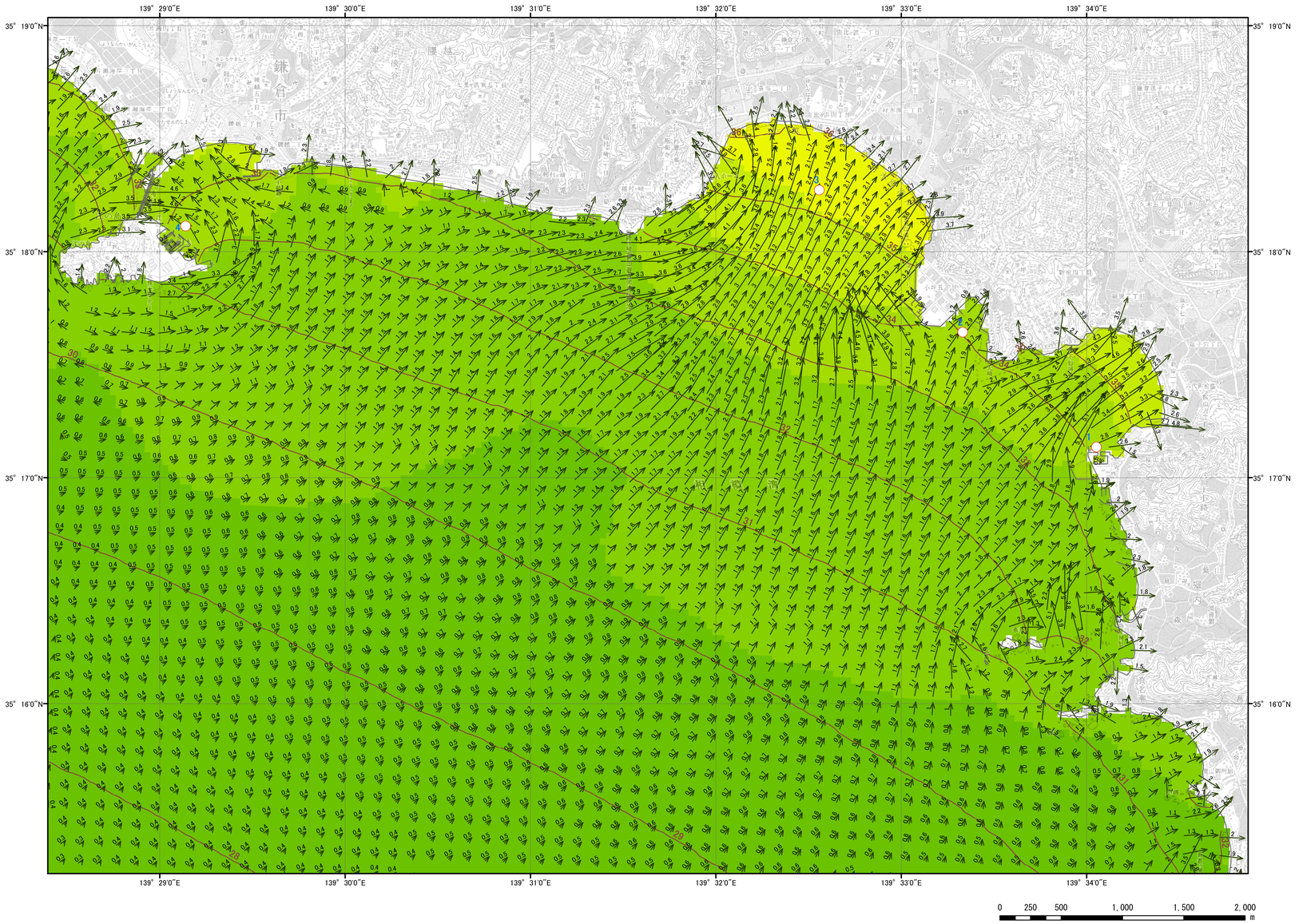
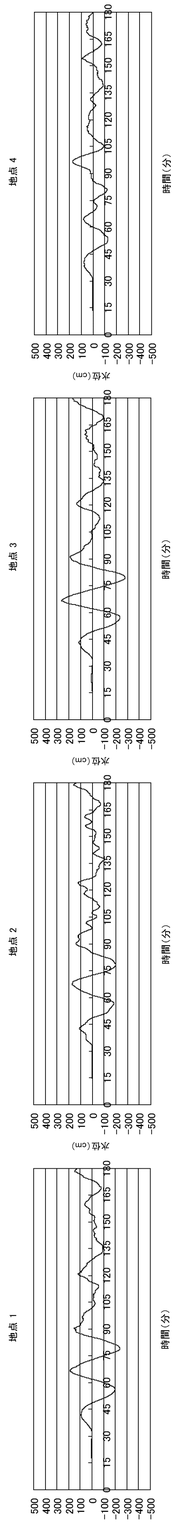
江ノ島付近　津波防災情報図（進入図）

計算条件：最高水面

・津波は、震源の位置、規模、細かな地形の影響などにより、試算した津波と異なることがあり、過去には、今回の津波の試算より大きな津波が来たことがある。





経時変化図：図上の位置における津波の挙動を時系列で示す。

1:20,000

座標系：メルカトル図法
測地系：世界測地系（WGS84）

凡例

水位上昇(+10cm)となる等時線[分]

経時変化図出力点

最大水位上昇

- 300～最大300cm
- 250～300cm
- 200～250cm
- 150～200cm
- 100～150cm
- 50～100cm

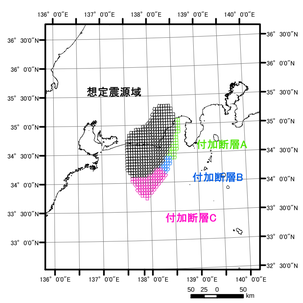
進入時最大流［knot］

- 3 knot
- 2 knot
- 1 knot

・津波の到達時間は、水位が10cm変動した時点を算出している。

・海岸構造物は、地震・津波の影響を受けないものとして計算している。

想定震源域と付加断層の位置



	中央の概位	中央の深さ
想定震源域	34° 45′ N,138° 02′ E	19km
付加断層 A	34° 45′ N,138° 30′ E	4km
付加断層 B	34° 15′ N,138° 20′ E	6km
付加断層 C	34° 00′ N,138° 00′ E	7km

・本図は、中央防災会議「東海地震に関する専門調査会（平成13年12月11日）」で公表された断層モデルを使用した。

・試算に使用したデータは、海上保安庁海洋情報部のJ-EGG500、J-BIRD、沿岸の海の基本図地形データ、及び海図を作成する際の基礎データ等を使用した。

・この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)を複製したものである。
(承認番号　平１５総複、第６７３号)
・この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50ｍメッシュ(標高)を使用したものである。
(承認番号　平１５総使、第６７２号)

作成機関　：海上保安庁
作成年月　：平成１５年　３月（初版）
第２回改訂　：平成１６年　３月（ver1.2）